

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2022年 3月 29日

市川市長

団体名 いちかわ市民ミュージカル
実行委員会

（団体番号 21 ）

代表者名

所在地

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	642902円
(2) 補助対象経費総額	355000円
(3) 補助金交付決定額	150000円
(4) 補助金交付概算払額	150000円



(5) 実施報告

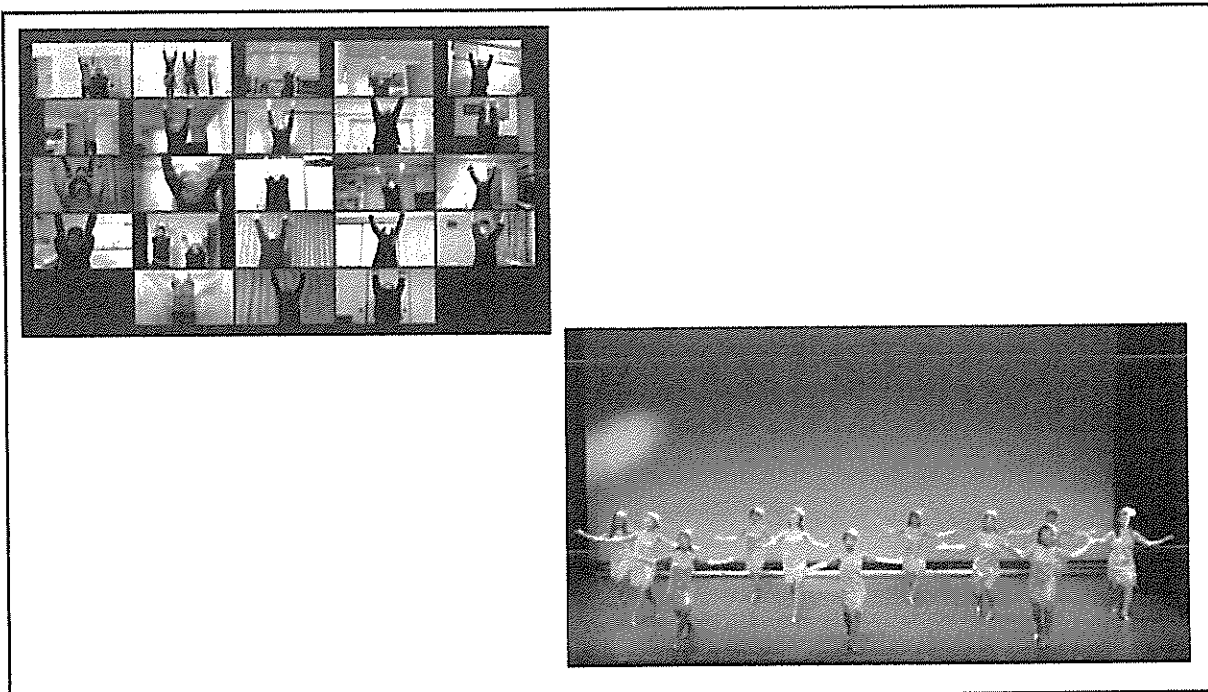
補助決定事業の名称	いちミュ－文化祭2021
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>実施時期 令和3年6月19日(土) 17:00~18:00 第1部 令和3年6月20日(日) 16:00~17:00 第2部</p> <p>実施会場 市川市市民会館(全日警)ホール</p> <p>実施内容 市内の文化サークルのうち、公募に応じて参加した9団体による合同発表会と交流を目的とした文化祭。 今年で7回目となった。</p> <p>参加人数：出演団体 9団体 出演者 延べ約87(内市民65)名 スタッフ30【内市民20)名 計117(内市民85)名 観客 約120(内市民約100)名 配信視聴回数 のべ1700回</p> <p>特徴点： 三世代市民によるサークル活動の合同発表会と交流の場として開催。近年は新型コロナウイルス感染症の影響により活動の縮小、自粛とされていますが、そんな状況下でも少しずつ再開している団体の発表の場を提供し、観覧者へも希望を与える発表会となりました。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>①各団体ごとの観客動員と宣伝活動 ②会員並びに案内登録者へのDM ③ニュースリリース(マスコミとミニコミ) ④当団体HPによる告知</p>
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>1、2002年以来続けてきた「いちかわ市民ミュージカル活動」を通して誕生した舞台表現を中心とした文化サークルによる合同発表会と交流を目的とした文化祭で、今回で第7回目となります。 2、今年は9サークルが参加しました。 3、自分たちが発表するだけでなく、互いに見合って交流することを大事にしています。 4、こうした活動を通して、市川市内に多くの文化サークルが誕生し、発展することを願っています。 5、現状下の中、活動している団体の成果発表を通して、サークルへの参加意欲が増すことを願います。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>1、現状ではたった一日の発表会で、一団体20分が発表時間の限界です。また、新型コロナウイルス感染症拡大状況下での開催となり、出演者、関係者、観覧者の感染予防に努めながら開催しましたが、参加団体数はかなり減少いたしました。 2、「いちかわ市民ミュージカル」に関係のない団体への参加呼びかけを広げたいのですが、現状では時間的制約のために、実現できていません。 3、当面はあまり欲張ったことは考えず、私たちの能力の範囲内で、市内サークルへの支援を心掛けたと思っています。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

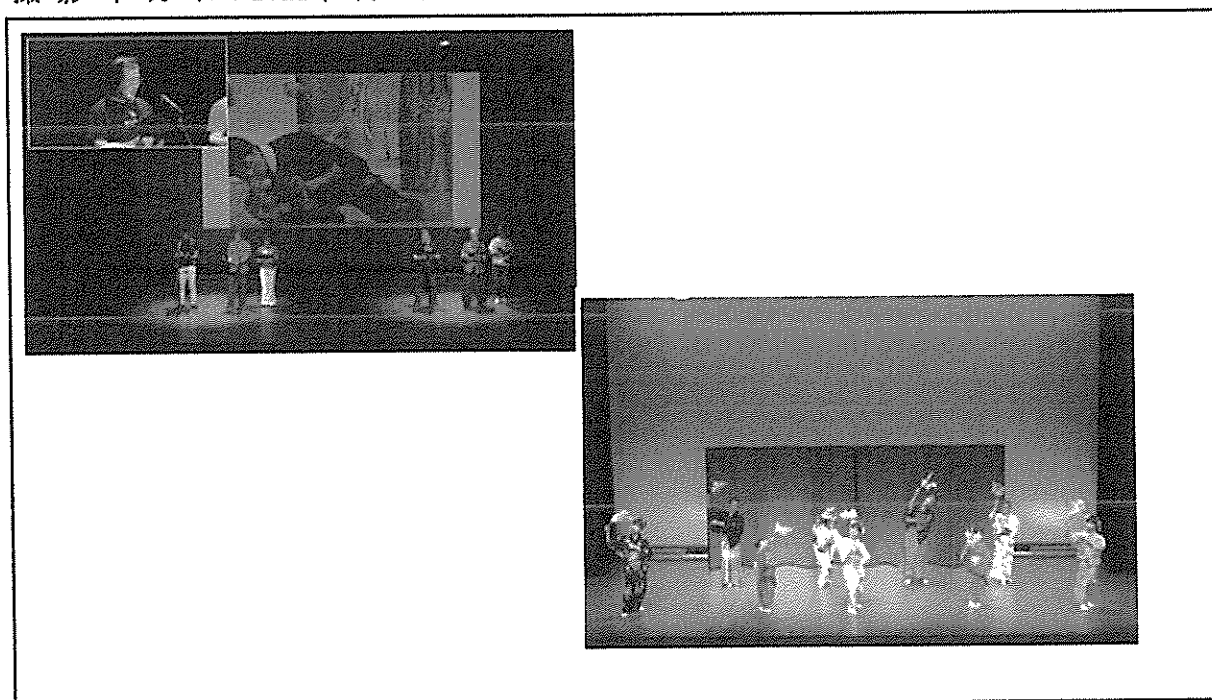
タイトル :

撮影年月日 : 2021年6月19日



タイトル :

撮影年月日 : 2021年6月20日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：いちミュウ文化祭2021

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	0	入場無料
寄附金収入	0	
補助金収入	150000	
その他 (助成金等)	0	
参加費	170000	参加費 団体参加 11000×8 13500×1 個人参加費 大人1000×50 子ども 500×13 障がい者500×24
会費充当	322902	
合計	642902	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	20000	20000	外部講師等の招へい <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 写真記録 高橋輝彦20000円
交通費	0		
消耗品費	17342	0	消毒剤ほか アスクル 17342円
印刷製本費	3940	0	チラシ印刷代 1000枚 3940円
通信運搬費	5400	0	駐車料 2700円×2台 5400円
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	596220	335000	全日警ホール 会場費 32960円 付帯設備費 44260円 照明プラン料 関企画 100000円 音響プラン料 ふおるく100000円 映像記録費 ムービーアイ 55000円 配信料 ムービーアイ 264000円
原材料費			
合計	642902	355000	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2022年 3月31日

市川市長

団体名 着物リメイク研究会
(団体番号 23)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

令和3年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	226,871円
(2) 補助対象経費総額	112,648円
(3) 補助金交付決定額	63,500円
(4) 補助金交付概算払額	63,500円



(5) 実施報告

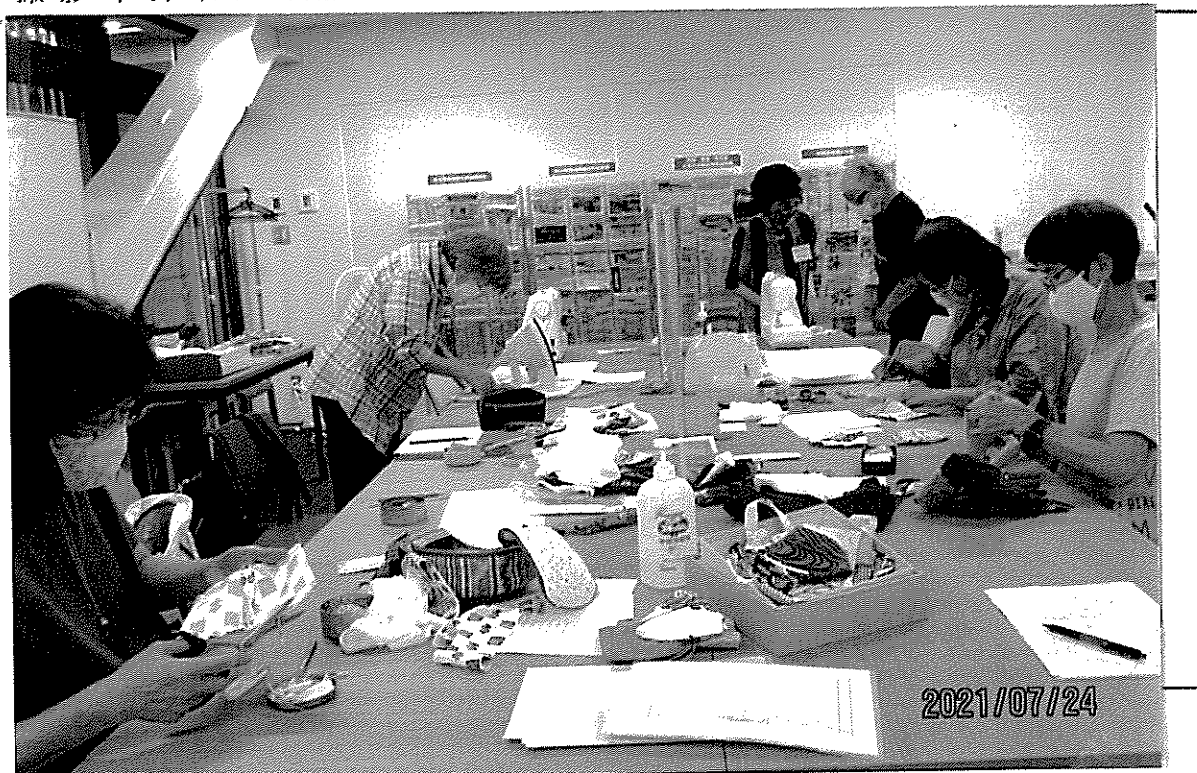
補助決定事業の名称	着物リメイク研究会 着物リメイク講習会 及び 市民ファッションショー開催事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>○第1回講習会 2021. 7. 24開催 「ゆかたで作る小物づくり」参加者5名。市役所活動支援センター使用。浴衣を使ってマスクとティッシュカバーを作る。作ったマスクを着用し参加者全員好評でした。</p> <p>○第2回講習会 2022. 3. 18, 25開催 「帯で作るバッグ」参加者6名。出来上がったバッグはとても実用的で素敵でした。</p> <p>○第14回着物リメイクファッションショー : 全日警ホール 参加者 38名、観客数 114名</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>○ファッションショーの参加者募集</p> <p>○講習会参加者募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広報いちかわ」に掲載。 ・地域新聞「市川よみうり」、「市川新聞」、「行徳新聞」に掲載 ・公民館、全日警ホールにポスター掲示
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>着なくなった着物、羽織や浴衣、使わなくなった帯など持て余している人が多い中、捨てずにどんなものに再生できるか知りたい方が大勢います。</p> <p>ファッションショーを見て、素敵な作品になるのを実際に感じてもらえた。</p> <p>講習会では、浴衣、帯を持参してもらい、マスク、小物やバッグに作り替え、「実用的で素敵なものになった」と好評でした。</p> <p>捨て難い高価な着物のリメイクに多くの関心が寄せられた。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>コロナ禍の中、ファッションショーを実施。観客席は、半分に減らし見してもらった。ショーに参加する人は、高齢の為、辞退する人が数名いて、前年より27名と人数は減ったが、作品は前年通り集まった。今年は、公民館が使い活動できたことが大きかったと思う。</p> <p>次回は、ファッションショーに参加する人を多く呼びかけ、着物をリメイクして、新鮮な装いと発表する機会を通し生き生き、ドキドキの楽しさを味わってもらいたい。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : ゆかたで小物作り

撮影年月日: 2021.7.24



タイトル : 着物リメイクファッションショー

撮影年月日: 2021.12.6



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 着物リメイク研究会 着物リメイク講習会及び市民ファッション開催事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入1	40,500	ファッションショー参加費 40,500 (1,500x27名)
事業収入2	4,500	講習会参加費 4,500 (500x9名)
寄附金収入	1,000	黒川様から寄付
補助金収入	63,500	
会費充当等	124,547 117,371	会費など 55,500 (1,500x37名)
補助金返金	-7176 0	
合計	226,871	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	62,000	7,000	外部講師等の招へい あり/なし
交通費	11,184	0	ファッションショースタッフ交通費 対象外、芯地購入、委員会出席・プログラム作成
消耗品費	10,541	8,558	ファッションショー案内状・用紙・インク 受付生花・設営用品など
印刷製本費	2,867	700	ファッションショープログラム、コピー代
通信運搬費	1,975	500	対象外芯地送料・書類郵送料
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	40,780	39,090	ファッションショー全日費11/6 39,090円 対象外、リハーサル10/17 1,580円、役員会10/17全日費 110円
原材料費	86,083	56,800	
食料費	11,441	0	
合計	226,871	112,648	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和4年3月31日

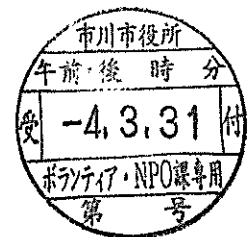
市川市長

団体名 着物リメイク研究会
(団体番号 23)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

令和3年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

- 1 補助決定事業の名称
着物リメイク講習会及び市民ファッションショー開催事業
- 2 変更の内容
講習会開催回数の減。
- 3 変更の理由
コロナ禍による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の影響によるもの。



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和4年 3月11日

市川市長

団体名 市川ジュニアBリーグ

(団体番号 25)

代表者名

所在地

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	967,487円
(2) 補助対象経費総額	397,618円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

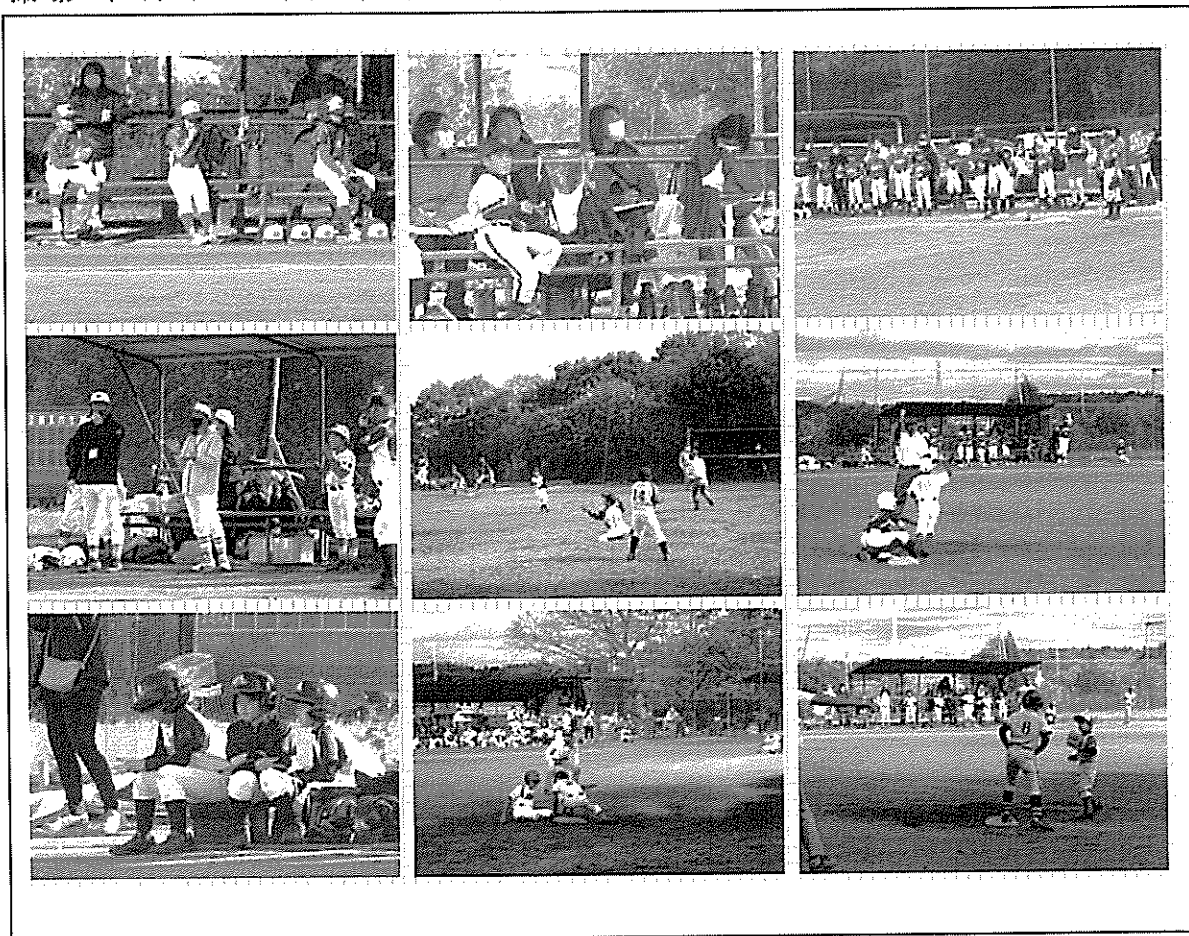
補助決定事業の名称	子どもの健全育成を図る小学校低学年野球大会の開催事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>【実施状況】例年は3月中にグラウンド整備、AED及び応急外傷講習会、総会、審判講習会等の準備をして開会式を迎えますが、本年度3月21日まで緊急事態宣言が発出されグラウンド使用禁止でしたが4月からの準備は実施しました。事業は幸運にも4月からスタートできました。柏井リーグは登録31チーム414名(女子32名)でスタートし、リーグ戦は4月32試合、5月30試合、6月26試合、7月27試合、8月7試合開催しました。8月2日から9月30日まで再度緊急事態宣言発出のため中止。解除後の10月から29チーム475名(女子54名)でベルカップ大会を開催しました。ベルカップ試合数は10月37試合、11月18試合、並行してリーグ戦も11月17試合行い年間合計でリーグ戦139試合、ベルカップ大会55試合の合計194試合を開催しました。市川消防局のAED及び応急外傷講習会は中止しました。審判講習会は実施時期が緊急事態宣言下であったため中止しました。グラウンド整備は市川市スポーツ課が1号グラウンド改修工事(内外野グラウンド入替工事)を実施してくれました。柏井リーグとして3号グラウンドバックネット裏と7号グラウンドにコロナ感染防止対策の一環として手洗所を設置しました。その他、11月ベルカップ閉会式、12月グラウンド整備、2022年1月活動報告書作成を行いました。</p> <p>【実施内容】本年度はコロナウイルス感染拡大防止のため多くの制約があるなかでの事業実施でした。しかし、限られた時間のなか試合数は例年の80%程度でしたが、「小学校低学年児童を対象とした野球ゲームの開催事業」により青少年の健全育成という目的は実現できたと考えております。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	市川ジュニアBリーグ(通称:柏井リーグ)のホームページにて広く市民に広報しています。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>コロナ禍のなか本年度、柏井リーグには31チーム、414名の子供たちが4月から11月まで楽しく野球をしました。また、ベルカップ大会には29チーム457名の子供たちが参加しました。延べ試合数は194試合(リーグ戦139試合、ベルカップ55試合)でした。市川市有数の自然豊かな森に囲まれた柏井少年広場に子供たちの歓声が響き渡りました。子供たちは指導者及び保護者と一緒に野球をする中で野球をすることが何より楽しいこと、勝った時の嬉しさ負けた時の悔しさ、チームメイトへの思い遣り、努力を継続する大切さ、最後まで諦めないことの大切さ等々を体験しました。保護者は子供との触れ合いが多くなり家族の絆が深まった幸福感を感じると共に地域で協働して子供たちを育成することの大切さを経験しました。また、清掃作業等を通してボランティア活動に対する充実感を持ち地域に愛着を感じるようになりました。</p> <p>子供たちが野球を好きになり将来の夢や希望に繋がることは嬉しいことです。子供たちが礼儀、感謝、思い遣りなどの心を成長させていることは、「青少年の健全育成」という柏井リーグの活動目的が達成できた証だと思えます。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>少子化とスポーツの多様化によって野球をする子供たちが減少している現状があります。問題はグラウンド確保と保護者の意識変革の2点だと思います。市川市のような都市部スポーツ全体に言えることですがグラウンド確保が大問題です。市川市は志ある方々の力により、地主の持つ土地が少年広場となっています。そして1%支援制度及び市民活動団体事業補助金のお蔭で安全で使い易い球場となっています。2021年2月市川市スポーツ課が1号グラウンドの安全確保のため内外野グラウンド入替工事を行ってくれました。行政でなければ出来ないことは行政にお願いし、整備清掃等ボランティアの力で出来ることは自分たちで行う。それが地域財政への貢献であり、知識への愛着を醸成する行動であると考えています。</p> <p>一方、保護者の意識変革については、従来から野球は保護者のお茶当番や根性論的指導が問題とされ、少年野球を敬遠する雰囲気がありました。本年度はコロナウイルスのため更に集うことに躊躇いがあり、少年野球人口減少に歯止めをかけることが最も重要なこととなっています。プロ野球などが組織的な活動をしておりますが、子供たちに最も身近な少年野球チームが参加する柏井リーグが「子供も大人も柏井リーグに来て楽しい、やって楽しい、見て楽しい」そんな少年野球を提供して子供を持つ保護者をもっともっと積極的に少年野球に加わりたと思うような魅力溢れる野球ゲームを提供する努力をしたいと思えます。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : ベルカップ大会の試合の様子

撮影年月日 : 令和3年11月21日他



タイトル : グランド整備の様子

撮影年月日 : 令和3年5月5日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 子どもの健全育成を図る小学校低学年野球大会の開催事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	693,000	柏井リーグ参加費1チーム13,000円×31チーム、 ペレカップ大会参加費1チーム10,000円×29チーム
寄附金収入	0	
補助金収入	150,000	
その他 (助成金等)	0	
会費充当	124,487	団体の本会計より充当
合計	967,487	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	51,649	0	記念品(優勝、準優勝、第三位、敢闘賞の8チーム分のトロフィー、メダル等の大会賞品)、賞状印刷
交通費	0	0	
消耗品費	715,478	395,398	石灰、砂・砕石、発電機、2000g、除草剤、審判用具、文房具等、草刈機のメンテナンス費、発電機のメンテナンス費、グラブ整備材、防球ネット等の補修材料、整備道具(散水ホース等)
印刷製本費	147,950	0	案内状、会議資料、駐車券、活動報告書等の印刷費
通信運搬費	34,910	0	通信費
保険料	15,280	0	
使用料及び賃借料	2,220	2,220	会場使用料
その他	0	0	
合計	967,487	397,618	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第7号（第8条関係）

市川市市民活動団体補助決定事業（中止・廃止）承認申請書

令和 4年 3 月 25 日

市川市長

団体名 東部マンドリーノ
（団体番号 29 ）
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

令和 3年 7 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の（中止・廃止）の承認を受けたいので申請します。

記

1 補助決定事業の名称

東部マンドリーノ 第16回マンドリン演奏会

令和 3年 7月 3日(土)行徳文化ホールI & I 開演 14:00

2 （中止・廃止）の理由

新型コロナウイルス感染防止緊急非常事態宣言、長引く発令により、市川市内公共施設の利用は厳しく、演奏会に向けての合奏練習もままならならず、演奏会日の運営も困難のため、中止といたしました。



様式第7号（第8条関係）

市川市市民活動団体補助決定事業（中止・廃止）承認申請書

令和4年1月14日

市川市長 村越裕民 様

団体名 鬼越ふるさと会

（団体番号 31 ）

代表者名

所在地

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の（中止・廃止）の承認を受けたいので申請します。

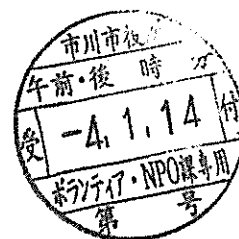
記

1 補助決定事業の名称

真間川歩け歩け大会

2 （中止・廃止）の理由

新型コロナ感染予防のため中止した。



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2022 年 3月 31日

市川市長

団体名 まちづくり家づくりCafeIchikawa
(団体番号 32)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

2021 年 7 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	57,324. 円
(2) 補助対象経費総額	52,408. 円
(3) 補助金交付決定額	68,500. 円
(4) 補助金交付概算払額	68,500. 円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	クロマツのある風景市川2021
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち歩きワークショップは会場のことを別にすれば、ほぼ予定通りにできた。公民館の使用制限によって会場確保が難しく、民間の施設を借りたために予算オーバーになった。 ・「えきなんギャラリーでパネル展示」は会場の都合で当初予定していた8月以降の会期が6月に早まったので準備作業の調整が難航した。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・まち歩きワークショップ等のイベントの広報は、ツイッター、市内ミニコミ誌数社に掲載、過去に参加申し込みのあった人たちに直接メールなどで行っている。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文人たちの愛したまち市川 そしてくろまつ」と題して <ol style="list-style-type: none"> ①えきなんギャラリーでパネル展示 ②八幡のまち界隈のまち歩きと根岸講師から文学について、高野講師から植栽と景観について話を伺った。 <p>二つの連続した企画は、文学と景観と町の暮らしを結びつけて感じる、参加者の皆さんから新しい感じ方に気づかされた感想を貰った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「行徳権現道まち歩き-1, -2」権現道の現状を観察、理解したうえで、望ましい「みち」の在り方について考えてみるという企画だったが、「現状観察」は何とか出来るにしても「在り方を考える」はデザインに関わることなのでやや高度かなと思った。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①企画内容が重要であること。 ②参加がたの企画は参加者のレベルに合わせる必要があること。 ③ある期間連続した講座形式が必要になる。 <p>が課題である。 これらを解決するにはより専門的な組織が必要になり、市民活動レベルでどこまで可能かをかんがえる必要がある。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

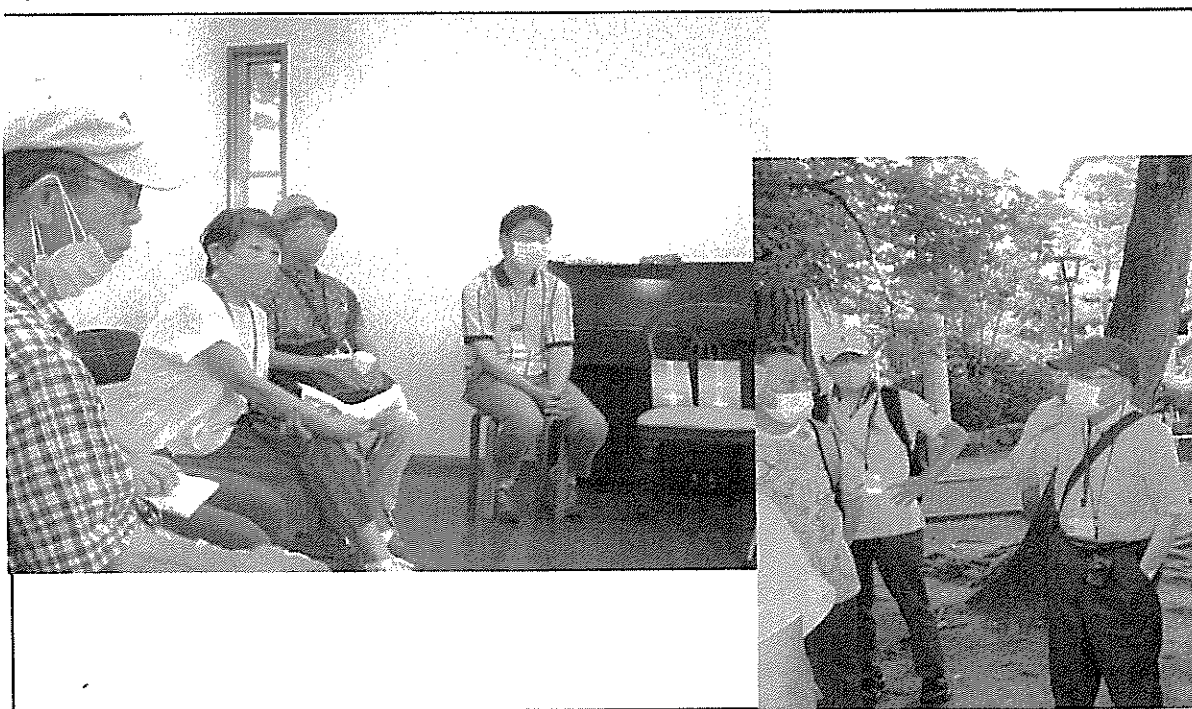
タイトル : 文人たちの愛したまち市川そしてくろまつ 駅南図書館展示

撮影年月日: 2021/5/30



タイトル : 文人たちの愛したまち市川そしてくろまつ 八幡まち歩きとレクチャー

撮影年月日: 2021/7/17

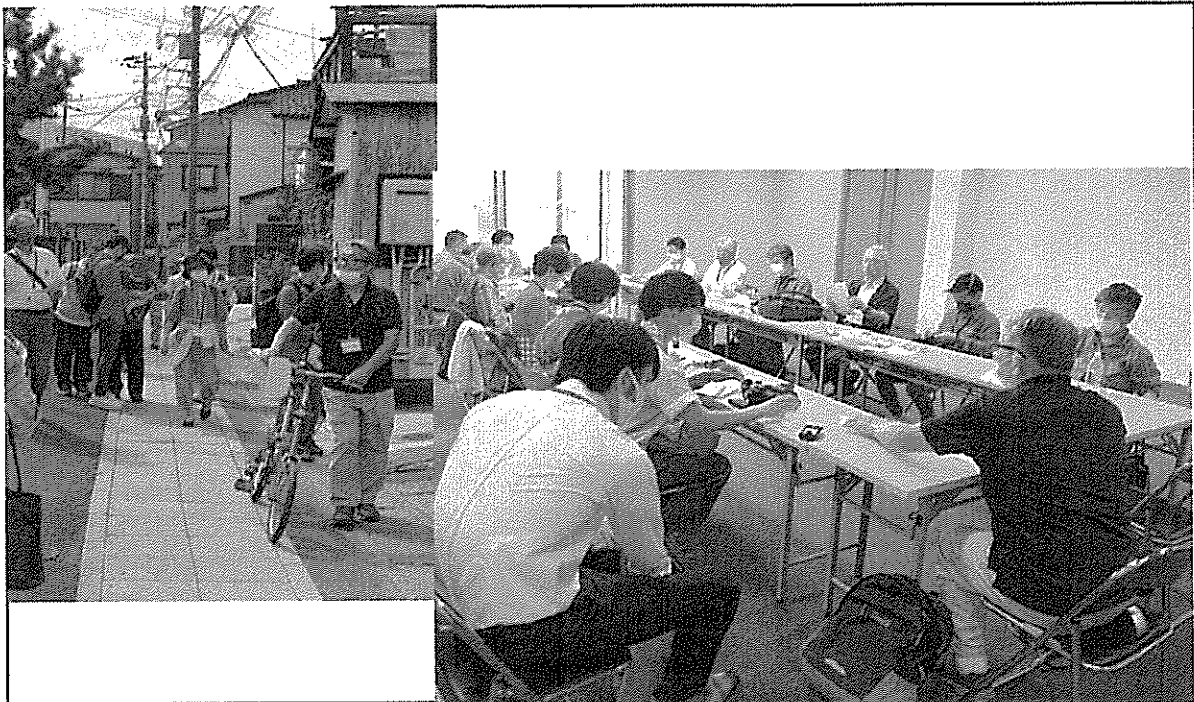


(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 行徳①権現道まち歩きとワークショップ

撮影年月日: 2021/9/28



タイトル : 行徳②「権現道をどんな道にしたいか」ワークショップ

撮影年月日: 2021/11/30



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：クロマツのある風景市川2021

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	20,500	まち歩き参加費(3回分)
寄附金収入		
補助金収入	68,500	仮払金
その他 (助成金等)		
会費充当	10,620	団体の本会計より充当
返し戻し金	42,296	68,500-26,204=42,296
合計	57,324	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	18,000	18,000	外部講師等の招へい あり
交通費	15,530	15,000	
消耗品費	13,408	13,408	P-ink, プリント用紙など
印刷製本費	0	0	
通信運搬費	0	0	
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	7,000	6,000	室使用料
原材料費	0	0	
雑費	3,386		
合計	57,324	52,408	52,408/2=26,204

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和3年3月30日

市川市長 村越 祐民 様

団体名 いくじネットいちかわ

(団体番号 33)

代表者名

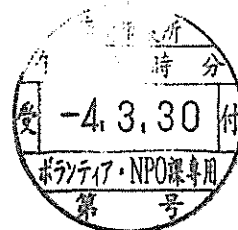
所在地

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	190,432円
(2) 補助対象経費総額	139,772円
(3) 補助金交付決定額	75,000円
(4) 補助金交付概算払額	75,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	親子の絆づくりプログラムB P “赤ちゃんがきた！” 開催事業	
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>①オンライン開催：令和2年度3月開催予定で準備していましたが、告知期間が少なく参加者が集まらなかったため開催できず、告知期間を延ばして令和3年度の事業として開催しました。 4月5日(月)10時～11時 於)行徳公民館和室 説明会・資料配布 2組4名参加 4月7日、14日、21日、28日(水)10時～12時 zoomを使用してオンライン開催 4組受講、延べ参加人数30名 5月12日(水)10時～12時 於)行徳公民館和室 テキスト回収・参加者交流会 4組7名参加</p> <p>②八幡開催 6月2日、9日、16日、23日(水)10時15分～11時45分 於)市川教育会館和室 7組受講、延べ参加人数48名 6月30日(水)10時15分～11時45分 於)市川教育会館和室 コロナ禍で、交流タイムが短くなっているため、参加者の希望により追加交流会開催 6組12名参加</p> <p>③市川開催 9月27日、10月4日、11日、18日(月)10時～11時30分 於)市川市男女共同参画センター和室 6組受講、延べ参加人数38名</p> <p>④行徳開催：参加募集をしたところ、1日で会場収容人数以上の申込みがあり、急速2回に分けて開催することにし、最後に広い会場を借りて合同交流会を開催しました。 2月7日(月)、14日(月)、21日(月)、3月1日(火)10時～11時30分 於)行徳公民館和室 6組受講、延べ参加人数46名 3月4日、11日、18日、25日(金)13時～14時30分 於)行徳公民館和室 6組受講、延べ参加人数44名 3月29日(火)10時～11時30分 於)行徳公民館多目的ホール 合同交流会開催 9組18名参加 講座内容(各回共通) 第1回「新しい出会い」参加者同士の紹介・交流 第2回「赤ちゃんのいる生活」一日の過ごし方について 第3回「赤ちゃんとの接し方」 第4回「親になること」 B P ファシリテーター：徳安祥子さん</p>	<p>受益者数 (うち市民の数)</p> <p>247人 (247人)</p>
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>保健センター4か月赤ちゃん講座、アイティ等での配布を依頼 いちかわっこWEBでイベント情報掲載 いちかわ子育てネットワークのLINEにて告知 ブログ・インスタグラム・Facebook等で告知</p>	
<p>補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>新型コロナウイルスの感染が始まって2年になり、コロナ禍で結婚し、妊娠・出産をされた人もいて、今の状況が日常となってきました。しかし、人と会えない・話せないことが、閉塞感や「自分の子育てこれでいいのかわからない」という不安を生み出しています。出産後、あまり外出もできておらず、地域情報が行き届いていない小さな赤ちゃんを育てている人たち向けのこの講座は、参加者の不安解消やお友達作りに役立っており、そのニーズの高さも、新型コロナウイルス第6波の最中の開催にも関わらず想定以上の申込みがあったことで実感しました。同じ月齢の赤ちゃんと交流することは、お母さんが「みんな一緒なんだ」と思うだけでなく、赤ちゃんにも刺激を与えています。「講座の次の日、寝返りをしました」という話もよくあります。また、4回連続で、毎回テーマに沿って参加者同士が話し合うので、一歩踏み込んで仲良くなることもできます。「1回だけの講座やイベントではお友達になるまで話ができない」という参加者の声もありました。 市川教育会館で開催したメンバーは、終了後も定期的に集まりたいという声があり、いくじネットいちかわの名前で会場を借りて2か月に1回程度集まっています。当事者同士が行動を起こすお手伝いできて良かったと思っています。 オンライン開催も状況に合わせて実施できるように準備をしようと思いましたが、実際集まっておしゃべりすることの効果ははるかに大きいので、できる限り対面式で開催できるように今後も頑張りたいと思っています。</p>	
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>コロナ禍で、会場の定員数が半分になり、赤ちゃんも1人と数えるため、6～7組の開催が限界です。広い部屋は4週連続借りることが難しく、公民館の予約受付が2か月ごとになっていて、ふた月にかかる日程での開催ができない等、会場確保に苦労しました。 コロナが落ち着いても、この講座のニーズは高く、少人数で4週連続講座は、行政や他の子育て施設等では開催しにくい様子なので、今後も開催していくつもりですが、参加のハードルを下げるため参加費無料にしており、コロナ禍でバザー等の収入もなくなり、寄付金に頼る団体負担も厳しくなっていることが課題です。</p>	

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

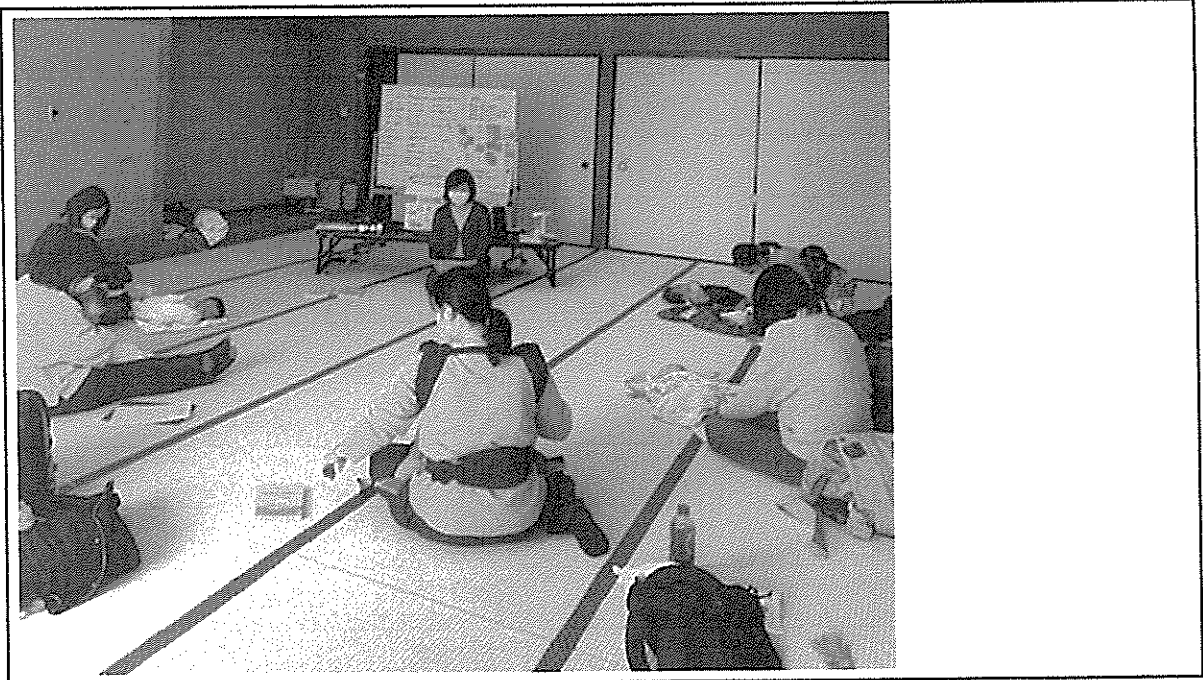
タイトル : 市川教育会館での開催

撮影年月日: 令和3年6月23日



タイトル : 行徳公民館での開催

撮影年月日: 令和4年3月25日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 親子の絆づくりプログラムBP“赤ちゃんがきた!”開催事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	3,000	交流会参加費 @200円×15組
寄附金収入		
補助金収入	75,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	117,546	団体の本会計より充当
補助金	-5,114	補助金返金分
合計	190,432	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	145,000	105,000	外部講師等の招へい <u>あり</u> なし 35,000円×1名×4開催、オンライン開催5,000円 (貸し出し用テキスト代@1,100円、交通費含む)
交通費	9,260	6,100	本八幡-行徳660円×11回、八方橋-三本松500円×4回
消耗品費	13,782	13,782	セロテープ95円、ポストイット290円、 インク6,787円、ラベル用紙655円、 コピー用紙482円、シール735円、ペン2,072円、 アルコールウェットティッシュ418円×2、 消毒スプレー1,540円、電池290円
印刷製本費	150	150	チラシ・資料印刷代
通信運搬費	740	740	オンライン開催テキスト・資料送付代
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	21,500	14,000	オンライン説明会・交流会 市川教育会館講座4回、交流会1回 男女共同参画センター講座4回 行徳公民館講座8回、交流会1回
原材料費	0	0	
合計	190,432	139,772	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和4年3月30日

市川市長 村越 祐民 様

団体名 いくじネットいちかわ

（団体番号 33 ）

代表者名

所在地

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

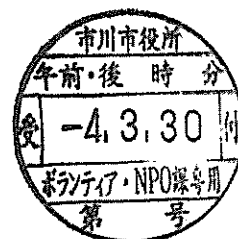
親子の絆づくりプログラム BP “赤ちゃんがきた！” 開催事業

2 変更の内容

開催回数追加（2回）と交流会の開催（2回）

3 変更の理由

昨年度開催できなかったオンライン講座を今年度開催した。
参加希望者が多すぎて行徳開催を2回に分けて開催した。
新型コロナウイルス感染拡大防止対策で、交流の場が減っているため、希望に合わせて追加の交流会を開催した。



様式第12号 (第11条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和3年2月20日

市川市長 村越 祐民 様

団体名 子育て応援メッセ実行委員会

(団体番号 34)

代表者名

所在地

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	360,265円
(2) 補助対象経費総額	215,740円
(3) 補助金交付決定額	130,000円
(4) 補助金交付概算払額	130,000円



補助決定事業の名称	子育て家庭・妊婦さん向けイベント開催事業	
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>2021年4月新型コロナウイルス感染拡大の動向が読めない状況だったが、できるだけ広い会場を押さえて、子育て応援メッセ、ハッピーマタニティフェスタを対面で開催できるように準備を開始する。7月13日(火)の全日警ホール、9月5日(日)の男女共同参画センター7階研修ホールを予約。</p> <p>5月21日(金) zoomによるオンライン打合せ 昨年イベント開催に関わってくださった関係者に今年度の計画を伝え、新型コロナウイルス感染拡大防止対策とイベント内容について検討。(参加者13人・スタッフ3人) 子育て関係者交流会のお知らせ開始</p> <p>6月7日(月) 第1回打合せ兼交流会開催(全日警ホール1階ホール) 4組の親子が参加。当事者の希望を聞きながら、コロナ禍でも実施可能な内容を検討。(参加者大人13人、子ども4人、スタッフ3人)</p> <p>7月2日(金) 第2回打合せ兼交流会開催(全日警ホール1階ホール) 8組の親子が参加。出展団体のアイデアに対して、意見を出してもらった。出展団体同士のコラボ企画も生まれる。(参加者大人21人、子ども8人、スタッフ3人)</p> <p>7月13日(火) 子育て応援メッセ in いちかわ開催(全日警ホール1階ホール、2階展示室) 午前・午後2部入れ替え制にして、事前申込み優先、当日数組受付可としたところ、午前の部は予定数に達し、多少混雑感があった。午後は0才児の参加も多く、予定数にも達しなかったため、会場内もゆったりしていた。 当日キャンセルの連絡をくれた方にも子育て情報を提供することができた。 参加アンケートは、アンケートフォーム利用で回収率は減ったが、内容の濃い回答が多かった。 (参加者午前52組110人・午後31組66人、出展関係者大人53人・子ども2人、スタッフ4人)</p> <p>7月初旬～子育て応援メッセの準備と並行して、マタニティフェスタの準備を開始。 第3回打合せ兼交流会は子育て応援メッセ終了後に資料配布し、個別対応に変更。 経営者が変わった市内の産院にチラシ配布のお願いをしたところ快諾。 7月27日(火) 大高先生打合せ。午前午後2部制にするため、2回講師として参加をお願いする。</p> <p>8月20日(木) 第4回打合せ兼交流会(男女共同参画センター) 交流会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況が酷く、妊婦さんの参加は難しいので、LINEでアンケートを実施。保健センターで実施していたプレ親学級が動画配信になっているので、沐浴等の実体験希望が多かった。コロナで自宅出産し赤ちゃんが死亡したニュースが出たところで、妊婦さんの不安も大きいので、それに対応できるように大高先生とも打ち合わせをする。(参加者大人10人、子ども1人、スタッフ2人)</p> <p>9月5日(日) ハッピーマタニティフェスタ開催(男女共同参画センター 7階研修ホール) 当日雨が降り、ホールの窓も壊れていて開かず、換気が不十分にならないように、センターから空気清浄機等を借りて、コロナ対策に心がけた。時間が足りなく体験ができなかった人もいたので、沐浴体験ができる場所を探し、情報提供する。 (参加者午前15組28人・午後11組21人、出展関係者午前20人・午後18人、スタッフ4人)</p> <p>10月22日(金) 第5回ふりかえり兼交流会開催(zoomによるオンライン開催) 今年度のイベント感想やコロナ対策に関する意見等を出し合う。出展団体のコラボ企画はとてもよかったという感想があり、その後もコラボでイベントうい開催するなど、新しい動きが出てきた。(参加者大人8人、スタッフ3人)</p> <p>5月下旬～9月上旬、各イベントの出展団体の紹介をブログやLINEで発信し、イベントに参加できない方にも情報提供を行った。</p>	<p>受益者数 (うち市民の数)</p> <p>イベント参加者 396人 (390人)</p> <p>子育て情報提供 不特定多数</p>
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>主にSNSやコミュニティペーパーを使って情報発信した。 SNS: いちかわっこWEB、LINE、ブログ、インスタグラム、等 コミュニティペーパー: いちかわ新聞、行徳新聞</p> <p>チラシを地域子育て支援拠点(支援センター・親子つどいの広場)と市川市保健センター・アイティ、こども館に置いてもらった。 マタニティフェスタの時は産院(3か所)にもチラシを置いてもらった。</p> <p>イベントのブログ(https://ameblo.jp/ouenmesseichikawa/) をイベント前はほぼ毎日発信することによって、イベントの告知だけでなく、子育て情報の発信にも効果があった。</p>	
<p>補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>新型コロナウイルスの影響が爆発的になる中での対面式イベント開催は、かなりスタッフ内でも不安であったが、子育て中の人や妊婦さんとその家族は、もっと不安な思いで日々を過ごしているだろうと思われ、会場が閉鎖とならない限り実施する方向で準備を進めた。その結果、無事、すべてのイベントが対面式で開催でき、参加者の感想もよかった。 イベントや交流会で参加者と直接話をしたり、終了後の参加者アンケートを通して、子育て家庭や妊婦さん夫婦が「何に困っているのか」「何を希望しているのか」を聞くことができ、その課題解決策を出展団体や協力者と一緒に考えることができた。 妊婦さん夫婦向けの沐浴体験も、八幡・新井親子つどいの広場でいつでも体験できるようになり、一部の地域子育て支援センターでも赤ちゃん人形を購入して体験できるように準備するようになった。 イベント開催をきっかけに、当事者の声を聞き、課題を整理して、それに見合った支援策を作り出すという流れができた。 「コロナ禍の地域でできる子育て支援」を生み出す仕組みができた。</p>	
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>コロナ禍2年目に入り、ターゲットを絞ったイベント開催のノウハウも確立できたと思う。 子育て応援メッセでは、主に初めて子育てしている親と0才児のお子さんをターゲットに絞って、情報発信・イベント開催したところ、コロナ前の大勢が来るイベントの時とほぼ同じくらいの0才児親子に参加してもらえた。マタニティフェスタも初産婦妊婦さんの申込みがほとんどだった。 イベントの規模は縮小されているが、内容的にはコロナ前と同じ効果が出ていると思われる。 会場確保が抽選結果に左右されるため難しくなっているが、開催月を変えるなど工夫しながら、今後もこの形で続けていきたい。</p>	

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 子育て応援メッセ

撮影年月日 : 令和3年7月13日



タイトル : ハッピーマタニティフェスタ

撮影年月日 : 令和3年9月5日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 子育て家庭・妊婦さん向けイベント開催事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	248,000	出展・冊子協賛金10,000円×13口、5,000円×23口、3,000円×1口
寄附金収入	0	
補助金収入	130,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他(助成金等)	0	
会費充当	4,395	団体の本会計より充当
補助金	-22,130	市川市市民活動団体事業補助金返金
合計	360,265	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	60,000	60,000	外部講師等の招へい <u>あり</u> /なし 5,000円×4名、10,000円×2名、20,000円×1名
交通費	6,360	6,360	スタッフ交通費 @440円×2名、@500円×4名 @660円×2名、@720円×3名
消耗品費	35,857	35,857	文具類: インク 4,532円、用紙 3,941円 袋・テープ2,080円、パネル 660円 封筒330円、チェキフィルム 8,730円 クリアファイル 440円、スタンプ 3,120円 コロナ対策: ビニルシート 2,952円 ポップスタンド 4,360円 リストバンド 1,500円 除菌ティッシュ・ペーパータオル等 3,212円
印刷製本費	73,722	72,053	配布資料印刷代 825円 チラシ印刷代 3,377円 子育て情報誌印刷500部 69,520円
通信運搬費	3,960	3,960	チラシ・資料等送付切手代 10円×10、84円×20、140円×9、210円×1 不足分50円、40円 レターパック370円×1 ゆうパケット 250円×1
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	41,930	37,610	子育て応援メッセ会場費 5,430円×2、26,650円 マタニティフェスタ会場費(減免あり) 600円、3820円
原材料費	0	0	
飲食費	0		※コロナ禍で飲料等の提供なし
スタッフ活動費	138,436		ボランティア謝礼(クオカード6名分) 5,971円 アンケート景品(図書カード5名分) 2,465円 スタッフ活動費・ブログ掲載通信費等 2,000円×1、3,000円×1、7,000円×1、 8,000円×1、15,000円×2、20,000円×4
合計	360,265	215,740	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和4年3月24日

市川市長 村越 祐民 様

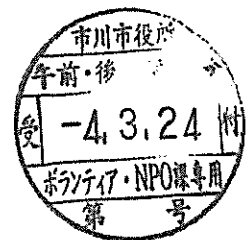
特定非営利活動法人
団体名 いちかわ子育てネットワーク
(団体番号 35)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	50,623円
(2) 補助対象経費総額	22,623円
(3) 補助金交付決定額	25,000円
(4) 補助金交付概算払額	25,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	子育てに関わる人たちのためのレベルアップセミナー開催事業	
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p><レベルアップセミナー2021企画会議> 5月21日(金)11時30分～12時30分 zoomを利用してオンライン会議 今年度のセミナー企画について検討。 コロナ禍、子供の成長を感じるイベントがなくなっているため、少人数で感染対策を実施しながら、生後8か月くらいのお子さんを育てている人たちに関心の高い「ハイハイレース」を実施しながら、当事者の声を聞くワークショップを行うことに決定。 2月開催の「つながる勉強会」は、コロナ禍、支援にたどり着かずには零れ落ちている人がいないかももう一度振り返ってみることに決定。</p> <p><コロナ禍での情報提供について～今一番不満に思っていること～> 7月30日(水)10時～12時 於) 全日警ホール2階 第3会議室 参加者: 6組(大人6名・子ども8名) ・スタッフ4名 「ハイハイレース」開催後、コロナ禍「困っていること」「不満に思うこと」を書き出してもらい、それについて話し合った。</p> <p><つながる勉強会> 当初2月25日に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大状況が深刻だったため延期する。 3月18日(金)18時～20時 於) 全日警ホール2階 第3会議室 参加者: 10名・市川市職員3名・スタッフ4名 市川市の子育て相談の現状を聞き、支援を求める人たちにぴったりのサポートが届いているのかを探り、不足しているサポートは何かを考えた。 子育て当事者からの相談にどう答えていいか迷った事例や、つなぎ先が無くて困ったサポートについて、参加者と意見交換し、「霧遠に不安」「多胎児」等の当事者グループを作ることや支援者と行政のつながり方について、今後取り組んでいくことを参加者と共有した。</p>	<p>受益者数 (うち市民の数)</p> <p>27人 (27人)</p>
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者にメールで直接お知らせを送る ・いちかわっこWEBでイベント情報掲載 ・ブログ等のSNSで告知 ・地域子育て支援センター、親子つどいの広場等、子育て支援拠点に案内状送付 	
<p>補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>「コロナ禍での情報提供について」では、当事者の生の声が聞けて良かったし、参加者からも「思っていることを伝える機会があって、スッキリした」という感想がありました。今後、イベント企画や子育てひろば・サロン等の開催に役立てていき、コロナの状況に合わせて、当事者が利用しやすい施設のあり方などを関係各所に伝えていきたいと思いました。</p> <p>「つながる勉強会」では、現状・課題を共有し、地域活動者と行政担当者との連携も深まったことが良かったです。</p>	
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>コロナ禍で、人と人とが交流する機会が減り、子育てひろばでのおしゃべり・情報交換・口コミ等がなくなっています。 子育て情報も、概要はネット等で調べればわかりますが、それがどのような雰囲気なのか、自分に合うのか等、詳しいことが見えてこないの、選びにくいという声もあります。 ソーシャルディスタンスを取ることで、表面的な付き合い方になり、本音が言えないもどかしさや、孤独感を感じる人も出てきています。 そんな人たちの声を拾う仕組みと、拾った声をサポートにつなげる仕組みを早急に作っていかねばなりません。 いちかわ子育てネットワークのLINE登録者数が1,000人近くなり、妊婦さん、子育てを始めたばかりの人の声は届くようになってきたので、それらの声にこたえられるように、関係者と連携を取りながら、支援体制を整えていきます。</p>	

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

レベルアップセミナー

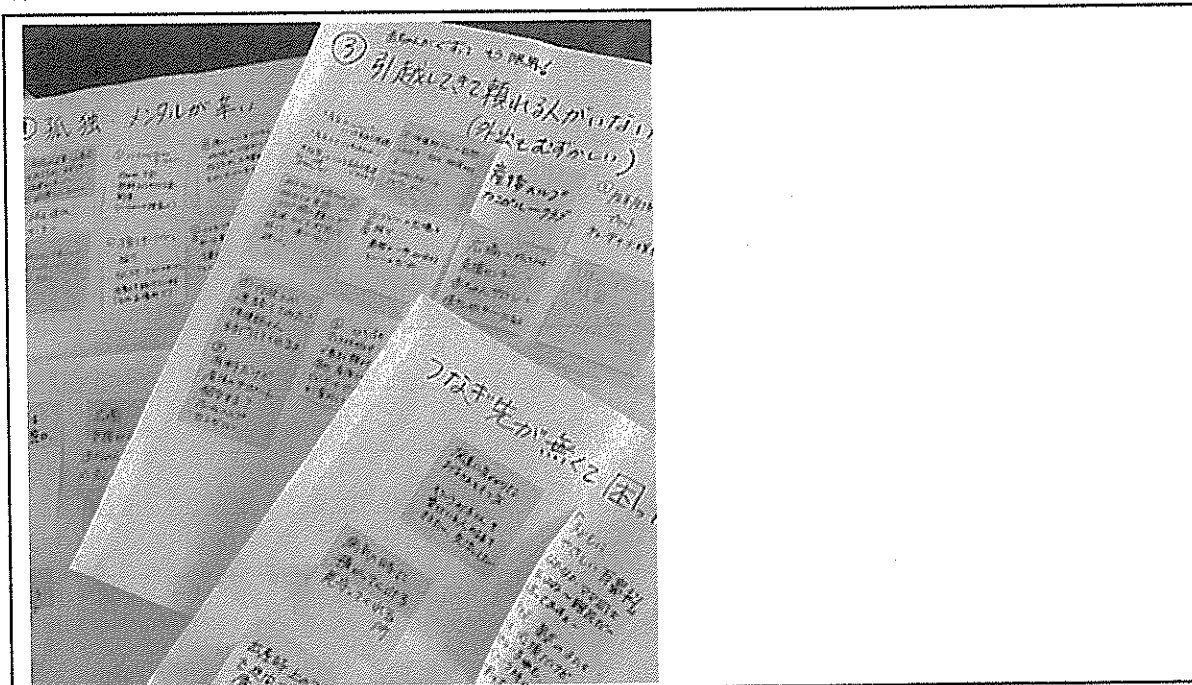
タイトル : コロナ禍での情報提供について～今一番不満に思っていること～

撮影年月日 : 2021年7月30日



タイトル : つながる勉強会～こんな相談になんて答える?～

撮影年月日 : 2022年3月18日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 子育てに関わる人たちのためのレベルアップセミナー開催事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	11,800	参加費@300円×6名、@1,000円×10名
寄附金収入	-	
補助金収入	25,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他(助成金等)	-	
会費充当	27,512	団体の本会計より充当
補助金	-13,689	補助金返金分
合計	50,623	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	0	0	外部講師等の招へい <u>あり/なし</u> コロナ禍、講師依頼が難しく、ワークショップ形式の講座にしました
交通費	3,760	3,760	スタッフ交通費@280円×2、@1,600円×2
消耗品費	8,533	8,533	用紙代 654円、インク代 4,136円、 領収書110円、ポストイット832円、テープ550円、 模造紙220円、ペン440円、袋110円 除菌ティッシュ 1,292円、ティッシュ189円
印刷製本費	0	0	印刷物はプリンターを使用しました
通信運搬費	1,450	1,450	チラシ送付切手代120円×5、84円×10、10円×1
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	8,880	8,880	全日警ホール5,550円、3,330円
原材料費	0	0	
飲食費	0		
スタッフ費	28,000		SNS告知経費@9,000円 イベント司会進行スタッフ費@5,000円×2 イベント受付スタッフ費@3,000円×2 イベント記録スタッフ費@3,000円
合計	50,623	22,623	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和4年3月24日

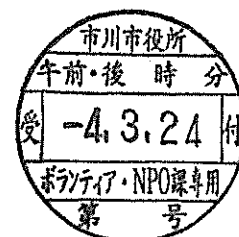
市川市長 村越 祐民 様

団体名 特定非営利活動法人
いちかわ子育てネットワーク
(団体番号 35)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

- 1 補助決定事業の名称
子育てに関わる人たちのためのレベルアップセミナー開催事業
- 2 変更の内容
開催月の変更
- 3 変更の理由
新型コロナウイルス感染拡大状況に合わせて日程の変更と会場が使用できる日程に合わせたため



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和3年12月20日

市川市長 村越 祐民 様

団体名 子育て交差点実行委員会

(団体番号 36)

代表者名

所在地



令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	232,731円
(2) 補助対象経費総額	183,897円
(3) 補助金交付決定額	130,000円
(4) 補助金交付概算払額	130,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	子育て交差点行徳開催事業	
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>8月23日(月) 打ち合わせのお知らせ作成、関係者に配布 9月17日(金) 第1回打合せ兼交流会(参加者7人・スタッフ3人) コロナ対策を含めたイベント趣旨・内容確認、 出展者・講師・スタッフの情報交換 華やいだ雰囲気や交流の場を意識して取り入れることに決定 参加申込・アンケートフォーム作成、チラシ配布開始 ブログ等にて開催内容を具体的に発信 10月15日(金) 第2回打合せ兼交流会(参加者15人・スタッフ3人)</p> <p>当日のレイアウト・コロナ対策等の確認 新しく参加される団体との情報共有とコラボ企画の検討 出展者・講師・スタッフの情報交換</p> <p>11月11日(木) 子育て交差点開催 事前申込97組、当日参加者96組204人(うち市民202人) 出展者等59人、スタッフ7名 各団体の紹介、抱っこ紐チェック、抱っこ姿勢チェック、 バランスボール体験、子育てコーチング、筋力測定、 保育士相談、ハンドメイド作品展示等 終了後、ふりかえりの会開催(16時~16時50分) 参加者20人、スタッフ4人</p> <p>12月17日(金) オンラインにてふりかえりの会開催 参加者6人、スタッフ2人 今年度の見直し、来年度の企画案</p>	<p>受益者数 (うち市民の数)</p> <p>311人 (309人)</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>・子育て支援センター3か所、つどいの広場2か所、こども館4か所、南行徳保健センターにチラシ配布 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子育て支援拠点等の入場者数が限られているため、LINE、ブログ・インスタグラム等、SNSを利用して情報発信に力を入れる</p> <p>http://ameblo.jp/ouenmesseichikawa/</p>	
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>昨年コロナ禍でも対面式のイベントを開催したため、今年はその経験を活かして、準備から実施までスムーズに行えたと思います。 午前・午後の二部制にして、余裕をもって各回50組定員としたところ、午前の部は一週間前に定員に達し、午後も40組を超える申し込みがありました。午後のみ、当日受付も可能にしたところ、行徳支所内アイティの帰りに立ち寄った方もおられました。 参加者の7割が0才児のお子さんのいる方で、午後は夫婦での参加も数組あり、妊婦さん夫婦も来られました。子育てのスタート時期に市内のいろいろな情報を届けるイベントとして定着してきたと思います。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密にならないように気をつけながらも、昨年より、少し距離感が近くなったような気がしました。参加された皆様も情報収集や交流、体験など楽しく過ごしていただけたと思います。 新規の出展団体が4組あり、新鮮さも感じられました。筋力測定のブースの横で、幼保園ブースの保育士さんが測定中の方のお子さんを見守ったり、姿勢チェックの順番待ちの方に、コーチングスタッフが話しかけるなど、ブースの連携も生まれ、出展者のつながりも更に広がりました。</p>	
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>「妊娠・出産・子育て」の途切れないサポートを目指して活動を行っていますが、初産婦さんと子育て支援関係者の接点が少ないという課題があります。イベントにご協力くださった地元企業さんが、そこで得た情報をそれぞれ広めていただくれば、子育て支援関係者と接点のない方にも情報が届くようになると思います。今回の子育て交差点は、必要な人に必要な情報を届けることができ、新たなイベントの形ができたという実感がありました。状況に応じて変化させながら、これからもイベント開催を続けていきたいと思っております。</p>	

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 1階 コンパス幼保園の子育て相談コーナー

撮影年月日: 令和3年11月11日



タイトル : 2階 抱っこ紐装着チェック

撮影年月日: 令和3年11月11日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 子育て交差点行徳開催事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	135,000	出展・冊子協賛金10,000円×9口、5,000円×9口
寄附金収入	0	
補助金収入	130,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他(助成金等)	0	
会費充当	5,783	団体の本会計より充当
補助金返金	-38,052	
合計	232,731	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	50,000	50,000	外部講師等の招へい <u>あり</u> /なし ワークショップ等講師(材料費込み) 20,000円×1団体(2名分) 10,000円×3名
交通費	5,100	5,100	スタッフ交通費 @760円×6、@340円×1 冊子配布時駐車場代 200円
消耗品費	15,291	15,291	インク代 7,722円、用紙代 1,932円 リストバンド 2,250円、腕章 2,451円 除菌シート・ゴミ袋 936円
印刷製本費	55,540	46,546	チラシ・資料・配布物印刷代 760円 子育て情報誌400部印刷 54,780円
通信運搬費	880	880	案内・チラシ等送付切手代 84円×6、94円×4
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	66,080	66,080	公民館使用料 820円×2回 ホール使用料 64,140円、 電源使用料 300円 (使用料減免申請なし)
原材料費	0	0	
飲食費	0		
スタッフ活動費	39,840		ボランティアお礼クオカード(6名分) 6,375円、 アンケート謝礼図書カード(5名分) 2,465円、 ブログ掲載通信費 13,000円、 スタッフ通信費 3,000円×1名、 5,000円×3名、
合計	232,731	183,897	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2022年 2月 1日

市川市長

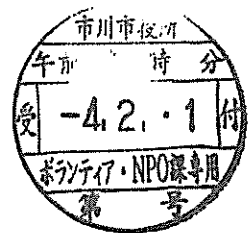
NPO法人
団体名 市川にオオムラサキを生息させる会
(団体番号 37)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	171,936円
(2) 補助対象経費総額	106,117円
(3) 補助金交付決定額	65,270円
(4) 補助金交付概算払額	65,270円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	オオムラサキの飼育活動を通しての自然環境保全啓発事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>○市川市教育委員会の推薦をいただき、本年度から市川市立中山小学校、若宮小学校の他、新たに大柏小学校がオオムラサキの飼育協力校に参加していただいた。4月中にオオムラサキの越冬幼虫を各20頭ずつ、エノキ各3本ずつ配布し、6月には各学校の3年生児童を対象にオオムラサキの幼虫の観察を中心とした学習の場を提供することができた。</p> <p>○市川駅南口図書館のご協力をいただき、6月24日～27日の4日間「オオムラサキ観察会」を開催する事が出来た。約600人の市民の方の参加を得た。新聞社にも情報提供していた関係で、市外からの参加者も見られた。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>○年2回、「オオムラサキ通信」を市川市立中山小学校、若宮小学校、大柏小学校、若宮幼稚園、富貴島幼稚園には全児童・園児及び職員と保護者に配布した。また、本会支援者へも配布した。</p> <p>○昨年6月と12月、支援会員募集パンフを、中山・若宮地域に新聞折込で配布した。(朝日新聞3,000部、読売新聞2,000部)</p> <p>○小学校3校の3年生児童を対象に、「オオムラサキだより」を発行した。</p> <p>○「オオムラサキ通信」の発行に伴い、本会ホームページを更新した。</p>
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>○学校教育との連携を進めることで、オオムラサキと児童・幼児の関わりが少しずつ広がりと深まりを見せ始めている。昨年まで、学校での羽化率があまり高くなかったが、幼虫、エノキ(食草)、成虫用のエサなどの支援を行う事で、羽化率が上がってきている。</p> <p>○オオムラサキを日常的に観察することで、オオムラサキに対する児童の意識も深まったと思われる。オオムラサキの学習の場面では、目の前で幼虫を観察する事ができた。子どもたちからは「かわいい!」「わー、うんちした!」等の歓声が聞かれた。</p> <p>○「オオムラサキ観察会」では、多くの市民の方に観察していただいた。オオムラサキの知名度は高いようで、「はじめて見ました。」という声とともに、興味深く観察される方が多かった。また、新聞記事に掲載された事により、浦安市、千葉市、松戸市など市外から観察に来た方もいた。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>○長引くコロナ禍の影響で、今後の活動の見通しが立たない状況である。このような状況ではあるが、可能な範囲で地道な活動が展開できるよう努めていきたい。</p> <p>○オオムラサキの飼育場所の一つとして、市内小学校の鳥小屋を活用させていただく案を検討中である。将来的には、市川市内で産卵ー成長ー羽化のサイクルの実現を目指していきたいと考えている。</p> <p>○新聞折込や観察会などを通して、支援会員の輪をさらに広げていく必要がある。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

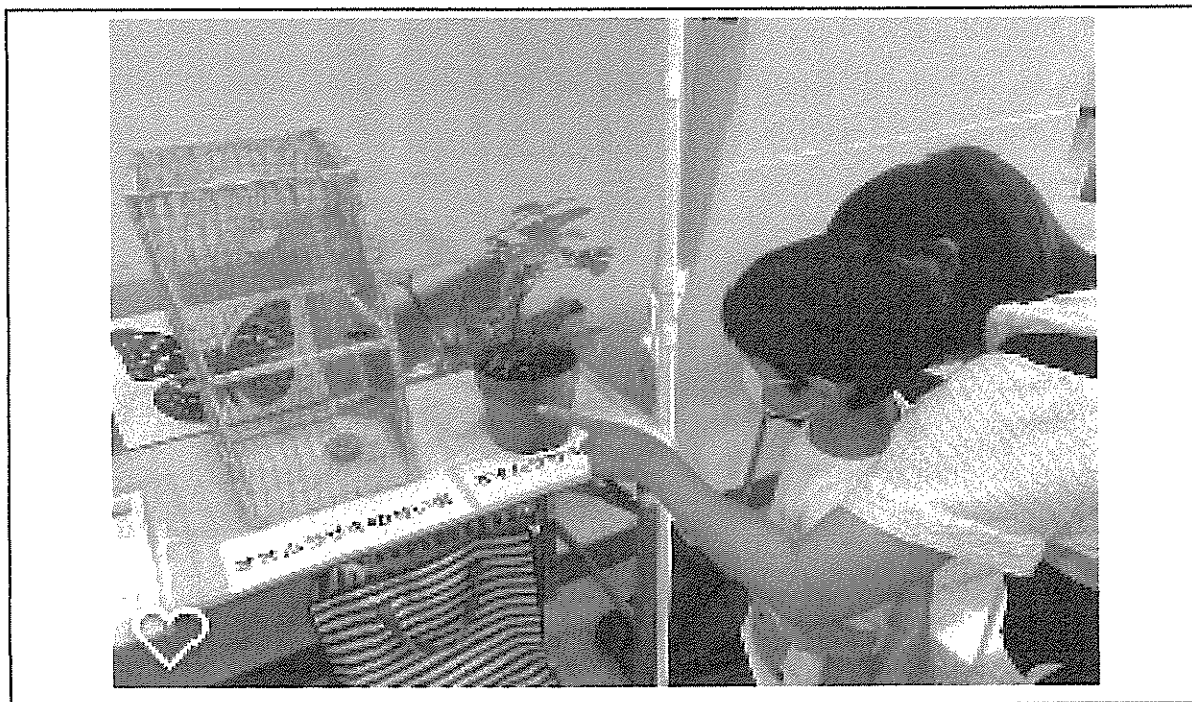
タイトル : 小学校におけるオオムラサキの学習

撮影年月日 : 2022 6.11中山小学校にて



タイトル : オオムラサキ観察会 (市川駅南図書館)

撮影年月日 : 2022 6月24日~27日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：オオムラサキの飼育活動を通しての自然環境保全啓発活動

1【収 入】

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	65,270	
その他 (助成金等)		
会費充当	118,878	団体の本会計より充当
補助金返金	▲12,212	
合 計	171,936	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明 (積算等)
報償費			外部講師等の招へい あり(なし)
交通費	16,220	11,580	幼虫等調達のための交通費(町田(3,900円) 市内幼稚園,小学校,博物館交通費(12,320円)
消耗品費	34,488	31,900	オオムラサキ幼虫(60円×200=12,000円) エノキ(774円×15)培養土等(926円) 鉢等(2534円)プリンターインク(7418円)
印刷製本費	34,578	34,387	オオムラサキ通信(6,755円+6,067円) 学習用資料(1,756円)のぼり旗(5,115円) 支援会員パンフ(7622円+7,263円)
通信運搬費	16,040	16,040	切手代(11,630円)はがき(63円×70)
保険料			
使用料及び賃借料			
原材料費			
その他経費	70,610	12,210	事務所管理費(30,000円)、観察会経費(20,260円) 新聞折込(12,210円+8,140円)
合 計	171,936	106,117	

※ 領収書(原本)を添付してください。